

包茎手術をご検討の皆様へ 注意点

- ① 包茎の手術療法については重度の真性包茎の症例に限って保険適応手術となりますが、ほとんど多くの症例については保険適応外手術となりますのでご了承ください。
- ② 包茎手術については、審美的な側面も大切なものであることは当然ですが、当院は男性科の診療所として、一番大切に考えていることは、男性外性器としてやはり機能的な問題であります。
- ③ 一部美容形成などの包茎手術においては、時に、包皮をかなり切除してしまうために、勃起の時に少しツツパリ感がある、あるいは、ひどい場合痛みがあるなどのトラブルがあります。そして陰茎皮膚面でも、性感の敏感なエリアが大きく切除されてしまうために、鈍感になったため、勃起や射精に障害が起こることが時にあります。
- ④ このような状況はできるだけ回避しないといけません。
- ⑤ あまりに包皮を過剰切除して、亀頭の露出のみにこだわり過ぎないように、当院では配慮しています。ここが一般的審美中心の美容外科と大きく異なります。
- ⑥ 包皮の余剰部分の長さ、陰茎の表と裏側の皮の長さのバランス、通常時と勃起時の陰茎の長さの差異などによって、総合的に個々人で包皮切除のデザインを考えて手術をします。
- ⑦ 生殖機能を持った、機能的な大切な、男性外性器です。勃起、射精について障害が起こらないようにすることが一番大切だと考えております。
- ⑧ 人によっては、たまに、もう少し包皮が思っきり短くしたいとか、ご注文される可能性も無いわけではありませんが、もともと包皮余剰が少ない症例や、埋没傾向の陰茎の症例では陰茎縮小時に多少包皮が亀頭部を被覆することも、時にあります。この場合は勃起時のツツパリ感を回避するためになったものであることをご理解ください。
- ⑨ また創部が多少のケロイド性変化で硬くなることは時に生じますが、これには個人の体質も関係があり、今の医学でも完全に防ぐことはできません。できるだけケロイドのできにくい丁寧な縫合をしますが、稀に包皮の硬い変性が起こります。外用薬の対処などでほとんどは十分対応が可能ですが、稀に再手術が必要になることもあると言われております(当院では再手術はゼロです)。
- ⑩ 再手術の場合にも、もし強い希望があった場合は行うことが可能ではありますが、誠に申し訳ないことではありますが、元来が保険外手術での再手術であり、再度同様料金体系での手術になりますことをご理解いただきたいと思います。

男性機能の専門医として、できうる限り、綺麗でかつ機能的にも良好な手術を行い、満足していただけるように全力で診療、手術にあたります。そして完治まで責任をもってフォローアップして参ります。ご安心ください。何かご質問などありましたら遠慮なく当院スタッフまでお声かけください。

医療法人男健会北村クリニック ☎075-746-6301